

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：令和4年3月25日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：黒川長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから3月25日の原子力規制庁定例ブリーフィングを始めます。

○黒川総務課長 報道官の黒川です。

お手元の広報日程に沿って説明をいたします。

まず、3月29日の（3）第1036回の審査会合です。

これは議題は1つで、島根2号機の設計工事計画の認可ということになります。

これは12月7日に初回会合がありましたけれども、今回は主に今後のスケジュールの大枠を確認するといったようなものになります。

次に、3月29日の（4）検査制度に関する意見交換会合。

これは新検査制度ができてから、数ヶ月に1回定期的に行っているものでありまして、今回は8回目ということになります。

議題は3つありまして、1つ目は、今年度の検査の実施状況の振り返りということ。

2つ目は、こちら規制委員会側でのガイド類の今後の改訂方針の説明。

3つ目が、定例の事業者からCAP活動を報告するというのがありまして、今回は東北電力からということになっています。

次に、3月29日の（5）特定兼用キャスクの審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目が日立造船からの申請でありまして、今回2回目の会合です。

2つ目が、三菱重工のものでありまして、これは既に型式証明が取れているのですけれども、その変更申請についてということで、横置きのもので既に型式証明が出ているのですけれども、縦置きでもオーケーという軽微な変更になります。

次が、3月31日の（8）第1037回の審査会合です。

議題は2つありまして、1つ目が島根2号機の特定重大事故等対処施設ということでありまして。

今回が初会合で、概要説明ということになりますので、特重案件ですけれども、今回は公開ということになっています。

2つ目が、泊3号機です。

今回は、全体の審査の論点の審査状況の認識合わせというのが主な議題でありまして、

効率的に審査を行うというというための新たな工夫の一環ということになります。

次が、3月31日の（9）訓練シナリオ開発ワーキンググループ。

これは非公開の会議ですけれども、全ての電力事業者が参加して、年2回行っている会合で、年度末に今年度の取組を振り返るといった趣旨の会議になります。

次が、3月31日の（10）第434回の核燃料施設のほうの審査会合です。

議題は1つで、日本原燃のMOX施設についてということで、今回は重大事故の発生に対応した建屋の設計についてというもののようです。

次が、3月31日の（11）同じく第435回のほうの審査会合です。

議題は1つで常陽です。

今回は、ナトリウムの漏えいへの対策など、火災対策全般についてということです。

あと、その他というところの（2）新規採用職員の任命式とありますけれども、いわゆる入社式みたいなものでありまして、委員長からの訓示と新入社員代表からの挨拶といった感じのものです。フルオープンで取材可能になっています。

こちらからは以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり所属とお名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。

よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。ありがとうございました。

—了—